



若竹だより



運営基本理念

報四恩

父母の恩・社会の恩

郷土の恩・大自然の恩

- 【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切にする人間となろう
③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八カ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

【巻頭言】

「協力すること」

園長 宮竹 恒

8月27日（月）始業式、夏休みを終えて、子ども達は、新たな学期を迎えました。子ども達の表情を見ていると、夏の間成長が感じられました。

子ども達は、各々に夏休みの体験、思い出を持っています。中学3年生にとっては、高校の体験入学は将来を考える上で貴重な体験であったと思います。また、プールやキャンプでの海水浴を通して、昨年より長い距離を泳げるようになった子どもは、自信を得る体験になりました。

各々の体験はありますが、学園での生活を通して成長したと感じられることがあります。それは、「協力する」ということです。

夏休みは、行事も多く、普段の生活にも増して集団で取り組むことが多くあります。

キャンプでは、グループごとに協力し、食材の購入から相談する事で、互いのことを考える機会になりました。また、遍路小屋の清掃活動を通して、子ども達は話し合う機会が出来、自分達が気付いた事が活かされる体験をしました。

夏休み中、子ども達は、活動を通し少しずつ協力することを学びました。

そして、子ども達にとって、大きな経験として、突然の停電がありました。

8月19日（日）子ども達が丁度夕食を食べ始めた頃（18時頃）、学園の電気が消え、非常灯に切り替わりました。まだ、明るい時間

でしたので、夕食は普通に終える事が出来ました。子ども達の中には、「ブレーカーが落ちたのかな？」と言う児もいました。電力会社に確認したところ、周辺地域の停電であることが分かりました。子ども達に状況を説明すると、思ったより落ち着いており、小学生の中には、「協力せんといかん」と話す児もいました。

職員は、子ども達が安心して過ごせるよう声をかけながら、懐中電灯やLEDランタン、手洗い用の水等の準備をしました。お風呂は、浴槽にお湯を準備していた為、子ども達は使うお湯の量を考え、入浴を行いました。子ども達の方から、「一緒に寝たい」と希望があり、ふれあい（共用スペース）や和室で寝る準備をしました。

子ども達が久しぶりに布団を並べ（増改築に伴い個室化された為）、職員がLEDランタンの灯りで絵本を読み聞かせ、いよいよ就寝という頃に電気が復旧しました。電気は、復旧したものの子ども達の一緒に寝たい気持ちは変わらず、朝まで共に過ごしました。

3時間程の「停電」でしたが、電気や水の有難さを感じると共に、子ども達が一緒に生活していることの意味を考えさせられました。

災害時に備えておくのは、物質面だけでなく、いざという時に協力できる関係であると感じました。学園で共に生活することを通して、協力することを学び、社会に出た時に人と協力できるよう、子ども達のさらなる成長を見守っていきたいと思います。—了—

キャンプに行ってきました。

8月2、3日に1泊2日でキャンプに行きました。1年を通して大人気の行事だけあって、知らされてから毎日キャンプの話題で持ちきりでした。グループのメンバーで晩ご飯作りの計画を立てたり、海やプールで使う道具の準備をしたりと、子どもたちも積極的に準備をしてきていました。



キャンプ当日、まず海水浴に向いました。浮き輪で遠くまで泳いで行ったり、砂浜で大きな絵を描いたり、遊び方はさまざま。途中、学校の先生方が来てくださり、ジュースをたくさんいただきました。お昼ご飯を食べ終わった後も「早く、早く！」と急いで海へ戻っていく子もいました。海水浴後はスイカ割りもしました。トップバッターが1発できれいに割ることができ、周りにいた子ども達は皆びっくりしていました。

海を出た後は、夕食のバーベキューのための買い出しへ。それぞれのグループで、予算を考えて工夫して買い物していました。

買い物後はコテージに移動し、バーベキューの準備をグループで協力して進めて行きました。火おこしをする人、食材の調理をする人、自然と役割を分担しながら準備ができていました。

努力の結果できあがったお肉や野菜、焼きそばなど美味しそうに食べていました。

お風呂に入って外が暗くなったら、肝試し

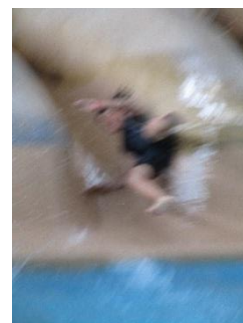


の時間！おどかし役やビックリ箱など仕掛けがたくさんあるコースを乗り越えて、手作りのお札をゲットして行きました。皆が無事にゴールした後は、天体観測をしながらそれぞれコテージに戻り、枕を並べて就寝。活動盛りだくさんな1日目を怪我無く終えました。

キャンプ2日目は、まず、朝食作りから始まりました。1日目の夕食に続き、協力して朝ごはんを作って食べました。「美味しい」と朝から楽しそうに顔をほころばせていました。朝食後は、ウォーターサバイバルをしました。チーム対抗で1位目指して一生懸命に的に向かって行っていました。朝から元気いっぱい駆け回りました。



コテージを出ると、近くのプールに向いました。プールでは、ウォータースライダーを何度も楽しそうに滑っている姿が印象的でした。ぷかぷかと流れるプールで流されて遊んだり、浮き輪を使ったりしてたくさんはしゃぎました。昼食を終えてからも、一目散に戻り、目一杯堪能していました。



シメに、温泉でまったりしてから帰りました。たくさん遊んだ後、温泉に浸かって癒されているようでした。お風呂上りには冷たいアイスも食べられて満足げな表情でした。子ども達も、「楽しかった」「いい思い出になった」と話しています。

太鼓招待

和太鼓 志多ら 息吹～IBUKI～



8月12日、日頃からお世話になっている高松紫雲ライオンズクラブさんから太鼓イベントに招待されました！！

学園では、月1回外部の講師を招き子どもたちが太鼓の練習をしていることもあり大迫力の太鼓演奏に目を輝かせていました。

終盤には会場のお客さんがステージにあがる機会がありました。照れながらも子ども達はステージにあがり太鼓の演奏に合わせて踊っていました。参加しなかった子どもたちも踊っている姿をみて笑顔になっていました。

お腹いっぱいになった後、御馳走になったお礼に子ども達から太鼓を披露しました。高松ライオンズクラブの方々以外にも国分寺の太鼓集団“夢幻の会”の方々にもご参加頂き学園の太鼓とはまた違った演奏で華を添えてくれました。夢幻の会のメンバーは子どもで編成されていたので同世代の子が叩く姿を真剣に観ていました。太鼓演奏後、夢幻の会のメンバーと交流する機会があり積極的に太鼓を教わっていました。夏休み最後に良い思い出ができたと思います。



みんなとたのしくできてよかったです。太鼓の人がかっこよかったです！！

Y・M

すごく迫力があり何曲もインパクトのある演奏ですごく見ていて感動しました。最後には舞台上で踊る事ができ楽しかったです。

普段の練習にも何か行かしていきたいなと思いました。太鼓がもっと大好きになりました。M.A



太鼓を叩く時の格好や仕草やスピードが速すぎて何を叩いているのかわからなかったけど手がきれいにまっすぐのびていて腕を曲げる時はしっかり曲げていて凄かった。

自分もああいう叩き方ができたらいいなと思った。S.S



高松紫雲ライオンズクラブ BBQ !

8月26日喝破道場さんの敷地をお借りし、高松紫雲ライオンズクラブの方々から若竹学園の子ども達の為にBBQを開催してくれました！！

お肉や焼きおにぎり、焼きそばなど様々な食材を用意して頂き子ども達もお腹いっぱいになるまで食べました。

かき氷

猛暑の続く夏休みですが、子ども達は暑い中元気に外遊びをしています。

そんな、子ども達に少しでも涼しくなって貰おうと学園では毎年おなじみの「かき氷」を行いました。

声かけをすると園生達が直ぐに集まり、各々好きな味のシロップをかけて味わい、「冷たくて美味しい。夏はやっぱりかき氷だよな。」など笑顔で話しながら暑い夏を楽しんでいました。



